

新社長



中外炉工業（本社・大阪府中央区）の社長。中外炉工業は80年以上の歴史があり、これに今年1日付で就任した。「経営理念（熱技術を核として新しい価値を創造し、これを通じて社会に貢献するとともに企業の繁栄と社員の幸福を実現する）を体現すべく、自分が先頭に立って引っ張っていき

中外炉工業 阪田 守氏

先頭に立ち経営理念体現

ンに向けた新技術を開発でなく、北米やインドなど海外事業にも注力できるような成長のステップを描いていきたい」と意気込む。そして30年度には新規事業・新市場での売上高100億円を目指している。

4月からは「コンプレックス」から設計、そして試運転まで任されたこと。「稼働した時には技術屋としてやっていく自信がついた」と回想する。

阪田 守氏（さかた ますし）1984年3月大阪府立大学（現大阪公立大学）工学部卒、4月中外炉工業入社。2013年4月執行役員、16年6月取締役執行役員、2026年4月現職。1962年1月19日生まれ。大阪府高槻市出身。

略歴

新技術開発、新規分野で事業化

グ力は当社の強み」と伸長する中、ワークラライアンス・安全品質し「既存技術・製品をイフバランスの充実を強化し、まずは守りブラッシュアップする図りながら、利益の絶を固めていく。そして、とともに、マイクロ波対額を増やしていく方開発を筆頭により一層加熱といった新たな熱針。「今期から次期中チャレンジしやすい風土を醸成することも急源を採り入れた新しい計の策定に入る。変化に対応できる組織を構築しながら、国内だけ「行動においては『最